



チーム玉幡

令和2年6月23日

学校長 丸茂和也

みんなで創ろう、最幸の玉幡小

6月18日(水)の午後1:00より、体育館で、「令和2年度 第1回児童総会」がありました。「みんなのことはみんなで決める」そのことが一番の趣旨である児童総会は、本来であれば3年生以上の児童全員で話し合い、1年間大切にしていきたいことを皆で確認して、目標をもちながら行動するための道しるべとするべき機会です。しかしながら今回は、新しい生活様式のもと、3密を避けるということで、児童会本部役員、委員会の長、3年生以上の各学級の代表3名ずつで行われました。

○令和2年度 児童会活動 スローガン

「明るい笑顔 みんなで創ろう 『最幸』の玉幡小」

○活動方針

たのしくみんなでたてわり活動

まじめにコツコツめあて活動

はきはき元気にあいさつ活動

たがいに高める全校活動



「最幸」にした理由は、玉幡小の児童会活動を通して、みんなが幸せな玉幡小をみんなで創りたいという願いがあるからという提案が本部からありました。以前PHPという本の中で、幸せになるために大切なことは3つある。それは「笑顔・感謝・健康」である、という言葉を目にしたことがあります。みんなで幸せになろうという思いと、それを実現するために大切なことをしっかりと示していることに感動をしました。



総会の中で「なぜ あいさつをするのか」という質問を全学級の代表者にして、話し合う機会がありました。その場で自分たちで考え話し合い発表するという内容です。どの学年も自分たちの持ち味を生かした素晴らしい意見が出て、あいさつは「仲良くなるための方法」「明るい気持ちよいあいさつで玉小をもっと良くする」というまとめとなり、最後に本部から、「あいさつを通して、玉小をより良くしていきましょう」という言葉がありました。

総会全体を通して、だれかにやらされているのではない「自分から」という雰囲気
が始めから終わりまで流れていたと感じました。自分で考えて行動する、子供たちに
ぜひ身に付けてもらいたい力です。そして全部が終わったあとに会場の片付けを本部
役員や委員会の長のみなさんが進んで行いました。その後児童会役員から自然に「あ
りがとう」の言葉かけがありました。ここでもやる気と決意を見た思いでした。

本部役員や6年生が玉幡小のみなさんの心に、幸せに
なるための「種」を蒔いてくれました。その種をこれから
みんなで努力して、力を合わせて育て、3月の終わり
には289個の種からそれぞれ自分の花を咲かせてもら
いたい、いや咲かせることができるんじゃないか、と思
うことができました。ぜひみんなで、心の中の種を大切
に育てて、それを咲かせて「最幸」の玉幡小学校を創っ
ていてもらいたいと感じました。



ありがとうございました。



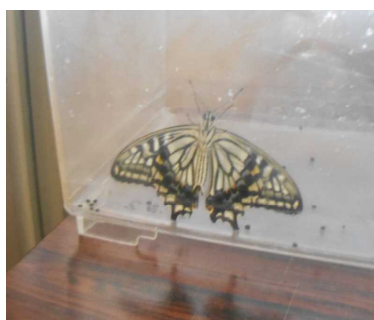
6月11日（木）に、カネト工業さんより、全校の水道の蛇口を41基寄贈して下さった上に、取り付け工事もしていただきました。写真にもあるように、大きなレバー式の蛇口で、小さな力で蛇口の開閉ができます。子供たちにはとても使いやすいもので、今は感染症予防のために、手洗いをこまめに行っていることから大変

有り難く、早速使わせてもらっています。

改めて、子供たちが多くの方に気にかけていただき、愛してもらっていることを感じ、心が熱くなりました。本当にありがとうございました。大切にに使わせていただきます。



小さな命も一生懸命に



1階の家庭科室の廊下に、小池先生が理科の授業で観察するメダカを始め、アメリカザリガニ、サカマキガイなど、いろいろな生き物を育ててくれています。先週アゲハ蝶がさなぎから成虫なり、美しい姿を見せてくれました。

小さな命を見ると、とても心癒やされます。それと同時に、健気に一生懸命に生きている姿から力をもらうことができます。

